

「新居浜弁」^{最高!} 再考 PART2

「赤ずきんちゃん」を新居浜弁で語ってみると…

今年の初め「三匹の子ぶた新居浜弁バージョン」で大好評だった「新居浜弁再考」PART2。今回は「赤ずきんちゃん」にチャレンジ。すでに使われなくなった言葉もありますが、おいしいちゃん、おばあちゃんの言い回しはまだ健在。新居浜に最近越してきた方、新居浜歴がまだまだ浅い🍀の方、参考にしてください。西条でも応用は可能じゃけん。



そーと一前の話なんじゃけど、**ものっ** **そかわいげえな**女の子がおったんやって。 **ほ**の子は赤いずきんを、いっつもかぶとったけん、近所の人らあからは、「赤ずきんちゃん」言うて、呼ばれだしたんよ。

【そーと一前】=すいぶん前(昔) 【かわいげえな】=可愛らしい 【ほの】=その

いつかしゃんに、赤ずきんが、かあさんに呼ばれて、病気で寝よるばあちゃん家(ち)に、かあさんが作ったクッキー**おんみやげ**に持って、「**おんまい**」行ってこんかい」って頼まれたんよ。ばあちゃんは**何ばり**食べんけど、かあさんがこしらえたクッキーは、**むつごない**し、好きじゃなかったんよ。

【いつかしゃんに】=いつか知らないけど(本文では「ある日」の意) 【おんみやげ】=お土産 【おんまい】=お見舞い

「ほんなら、**行ってこおわい**」
「気〜つけて行ってこんかいよお」

【行ってこおわい】=行ってきます

ばあちゃん家(ち)の**行きしな**に、お花畑があるんじゃけど、ほの花畑を見よったら、赤ずきんちゃんはええこと思いついたんよ。

「ほーじゃ!お花もばあちゃんに持ってあげよねえ〜、ええ考えじゃ。」

言うて、花を摘み出したんよ。ほんなら、赤ずきんちゃんを狼(おおかみ)が、**があ〜い**に見よったんやって。

【があ〜い】=物凄く

「あの子供うまそうな**にやあ**。**どなん**して食うたろかいのお…。あ、ほーじゃ!」

【どなんして】=どうやって

なんかしゃんを思いついた**げえな**狼は、**あらくたい**顔もって、ばあちゃん家に行ったんよ。

【なんかしゃん】=何か知らないが 本文中では「なにが妙案を〜」

ばあちゃんところに着いた狼は、寝よるばあちゃんを、大けな口で**かつれたげえ**に、丸のみしてしもた。ほんで、寝巻きや、帽子かぶって横になって、赤ずきんちゃんが来るのを待ちよった。**な〜んちゃ**知らん赤ずきんちゃんが、ばあちゃん家(ち)に着いたんよ。

【な〜んちゃ】=何にも

「遅なってゴメンよお〜。今ついたけんねえ。」

やか言いもって家ん中に入ってきた。花を、花瓶に入れてから、**やっこ**、ばあちゃんの横に座った時に、**なんかしゃん****おかしげえな**感じがしたんじゃ。

【やか】=とか 【やっこ】=やっこ 【おかしげえな】=不自然な

「ばあちゃん目〜は、**なんでほなん**きついん?」

【ほなん】=そんなに

「お前の顔がよ〜見えるように、**なっとん**じゃがね。」【なっとんじゃがね】=なってるんだよ

「ばあちゃんの耳は、**なんでほなん**大さくん?」

「お前の声がよ〜聞こえるように、**なっとん**じゃ。」

「ほんだら、ばあちゃんの口が大きいんは、**なんでなん?**」
「ほれはの…。お前を**食うけん**じゃ!!!」
「ギャー!!」

【なんでなん?】=どうしてなの?
【食うけんじゃ】=食べるためだ!

たまげた赤ずきんちゃんは、「**はよどこぞ**行かな!!」思て、**おらびも**って逃げたんじゃけど、ごつい狼に食べられてしもた。**よっけ**食べて、**腹は**った狼は、**ねぶた**一なってそこらへんで横になった。

【おらびもって】=叫びながら 【よっけ】=たくさん 【腹はった】=お腹いっぱい 【ねぶた一】=眠たく

ほん時にばあちゃんを**たんね**てくれた猟師がおって、狼の**のぶそげ**な姿と、ばあちゃんが家におらんので、

「こいつ、ばあちゃんを食うたんじゃ**ないん**けや?」

「**たんね**て 【ないんけや?】=ないんだろか? とすぐ思おた。んなら、寝よる狼の足持って、逆しにして、背中を何べんもどついたり、しばいたりした。**ほなん**がいに**されたら**、狼もかなわんわね。」

赤ずきんちゃんとばあちゃん吐きだして、**ねんご**も言わんと、**飛んで**いんだ。

「**飛んで**いんだ 【飛んでいんだ】=飛んで帰った、飛んで逃げた
「ああ、**おとろ**しかった。**おお**けに。」

「**おとろ**し 【おおけに】=ありがとう
猟師に**よー**にお礼言うて、三人で仲良くクッキー食べたんやって。
めでたし、めでたし。 【よーに】=丁寧に

【解説】

実際には使われなくなった方言もあります。

ものっそ	「もの凄く」の意。「すごく」を「っそ」と、略したイメージ。略して、早く言った方が「ものっそう」でしょ?
何ばり	「いろいろ」、「なんでもかんでも」に近い意。ただし、肯定するのではなく、否定時に使われることが多い。「何ばり食べんけど」=「決まったものしか食べられないけど」
むつごない	「むつごい」の反対語。「むつごい」は「(味が)濃い」とか、「甘ったるい」時に使われる。また、濃い顔の人に「むつごい顔じゃの〜」と使われることも。
行きしなに〜	「行く途中に〜」、「行きしに〜」と略す場合も。到着地点に着く途中で用事を済ませたり、寄り道をしたりする場合に使用する。
〜にやあ	「〜だな」。地区によって発音は「〜ねやあ」。「うまそうなにやあ」=「うまそうだな」。「ニャー」と、猫ひろしのような発音ではない。
〜げえな	「〜様子の」、「〜のような」。「思いついたげえな狼は」=「思いついたような狼は」
あらくたい	「荒っぽい」、「乱暴な」。新居浜太鼓祭り時に、太鼓台をさす場合もある。「あそこの太鼓はあらくたいわあ」
かつれたげえに	「かつれる」=飢えている「かつれた」=飢えた。これに語尾「〜げえな」をつけ「飢えたように〜」と使用
どこぞ行かな	「どこかへ行かないと」。本文では、狼から逃げないとならない赤ずきんだが、すぐには安全な場所が思い付かない「とにかく行かないと! (逃げない!)」
のぶそげな	「のぶそ」=ここでは「だらしない様子」。「生意気な」「横柄な」の意味に使う場合も。野風僧が語源。
ほなんがいにされたら	そんなに強くされたら(痛めつけられたら)。がいに=凄く、強くの意。
ねんご	本来は「理屈」の意味。「ねんごたれるな」=「理屈を言うな」。本文では「文句」のニュアンスに近い。「文句も言わずに飛んでいんだ(慌てて逃げ出した)」